

講座・イベントの ごあんない

イベント

日時

■藤沢市社会福祉大会 & 地域福祉プラザ ハートフルデー	1月18日(日) 9:30～15:00
■IT サポート講座「らくらくホームページ講座」	1月19日(月)・26日(月) 13:30～16:00
■出張マネジメント講座「ボランティア活動入門講座」	2月15日(日) 14:00～15:30
■藤沢の市民活動大交流会～市民会館に感謝を！～	2月18日(水) 15:00～18:00
■市民活動プラザむつあい 休館日変更	2月23日(月・祝) 開館、2月24日(火) 休館

NEW!

支援施設からのお知らせ

■藤沢市社会福祉大会 & 地域福祉プラザ ハートフルデー

藤沢市・藤沢市社会福祉協議会が主催のイベントです。
「赤ちゃん防災」について考えるブースを設置します。
日時：1月18日(日) 9:30～15:00(開場 9:00)
会場：藤沢市役所分庁舎 2F(藤沢市朝日町1-1)
内容：藤沢市市民活動支援施設の紹介・
「赤ちゃん防災」について考えるブース



■IT サポート講座「らくらくホームページ講座」

無料ウェブサイト作成ツールを活用しウェブサイトの仕組みを学ぶことから、ホームページ作成の実践まで幅広く学べます。
日時：1月19日(月)・26日(月) 13:30～16:00
会場：市民活動推進センター会議室
料金：2,000円 定員：10名(先着順)
対象：NPO・市民活動・地域活動に関わっている方
講師・運営：藤沢市市民活動支援施設サポートクラブ ITサポートチーム



■出張マネジメント講座「ボランティア活動入門講座」

ボランティア活動の役割やどのような組織体があるのかなどについて事例を交えてお話しします。新・村岡市民センターで初開催します。
日時：2月15日(日) 14:00～15:30
会場：新・村岡市民センター 第1談話室
料金：無料 定員：25名
対象：市民活動・地域活動に興味のある方
講師：手塚明美氏((一社)ソーシャルコディネートがながわ理事長)
主催：市民活動推進センター



■藤沢の市民活動大交流会 ～市民会館に感謝を！～

市民活動を行っている団体や市民の方々と交流しませんか？
長らく市民の活動や発表の場であった市民会館が休館・再整備を迎えるにあたって感謝を伝えるとともに、市民活動を担い支えてきた団体の表彰やPR・交流を行います。
市民活動に触れるきっかけとしてご参加ください。
日時：2月18日(水) 15:00～18:00
会場：藤沢市民会館 第1展示集会ホール
料金：無料
定員：100名(先着順)
対象：藤沢の市民活動・地域活動に興味関心がある方
話題提供 登壇者：粉川 一郎氏(武蔵大学 社会学部長・教授)
その他：軽食あり・保育あり(保育をご希望の方はお申し込み時にその旨をお知らせください。)
主催：藤沢市市民活動支援施設
(市民活動推進センター・市民活動プラザむつあい)



■市民活動プラザむつあい 休館日変更

「市民活動プラザむつあい」は、天皇誕生日の日のため2月23日(月・祝)を開館日といたします。
翌日24日(火)が休館日となります。ご注意ください。



発行：藤沢市市民活動支援施設

本館：市民活動推進センター

開館時間 9:00～22:00 火曜休館

※日・祝は9:00～20:00

〒251-0052

神奈川県藤沢市藤沢1031 アーバンセンター藤沢2F

TEL: 0466-54-4510 FAX: 0466-54-4516

Eメール: f-npoc@shonanfujisawa.com

編集：認定NPO法人 藤沢市市民活動推進機構(藤沢市市民活動支援施設 指定管理団体)

※この情報誌は、サポートクラブのメンバーのご協力により、皆さまのお手元に届いております。サポーターも随時募集中です！



分館：市民活動プラザむつあい

開館時間 9:00～17:00 月曜休館

〒252-0813

神奈川県藤沢市亀井野4-8-1 六会市民センター2階

TEL&FAX: 0466-81-0222

Eメール: f-npoplaza@shonanfujisawa.com



支援施設サポーター、支援施設外の活動現場でサポートする



コンサート当日朝、楽屋入口が開くのを待つサポーター(左右)と藤沢合唱団永山団長(中央)

藤沢市市民活動支援施設の運営にはサポーターの存在が欠かせません。支援施設サポーターはボランティアで、情報誌F-waveの封入作業や「パソコンなんでも相談」の対応、藤沢市内の市民センター等に設置している「市民活動コーナー」への団体広報物の配架、イベント開催の支援、パソコンのデータ入力、支援施設のお掃除などを担っています。現在、ご登録いただいているサポーターは200人余り。各サポーターのやりたいこと・出来ること・得意なことで、支援施設運営をサポートしていただいております。

これまでサポーターの活動場所は主に支援施設内でしたが、施設外に出て活躍すればもっとまちが良くなるだろうと考え、

市民活動団体の活動現場でのサポートにトライしてみました。今回は、2025年11月29日(土)に藤沢市民会館で行われた藤沢合唱団(団長:永山園子さん)の「創立45周年・平和コンサート—うたは生きる力・希望の明日へ—」で、会場設営や受付対応をお手伝いしました。

支援施設サポーター：今後も応援したい！

今回の平和コンサートの目玉は、組曲「無言館」。長野県にある、第二次世界大戦で命を落とした画学生が生前に描いた作品を展示している美術館「無言館」を題材とした楽曲です。歌で平和を伝える活動に取り組む藤沢合唱団を支援したサポーターに感想を伺いました。(次ページに続く)



支援施設サポーター、支援施設外の活動現場でサポートする



会場設営の支援

【サポーター：鎌倉 晴久さん】

私がアマチュア合唱団に所属していることもあり、関心を持って裏方のお手伝いをさせていただきました。生きる力や未来への希望を与えてくれる素晴らしい歌声を堪能させていただきました。大ホールでの演奏会ともなると、ステージの山台作りから、照明や音響の調整、団員の出入りの練習、プログラムへのチラシの挟み込み、受付、面会等来聴者対応、色々なご案内、等々色々な作業があり、お手伝いのし甲斐がありました。

【サポーター：松村 はるみさん】

当日は、会場設営やお客様の誘導、チケット販売の支援をしました。リハーサルやコンサート本番の後半では、合唱団の歌声を観客席から楽しむことができました。

お客様がお帰りになられた後の「全体会」がとても素晴らしかったです。全体会では合唱団メンバーや永山団長が、指揮者から出演者・裏方スタッフまで、一人一人の感想を順番に聞いていました。当日のみお手伝いに来た私に順番は回ってこないと思っていましたが、私にも当てていただいて驚きました。全体会に参加したことで、ここにいるみんなでこのコンサートを成功させたと感じ、感動しました。朝も入口に入る前からお声掛けがあり、気配りがありました。永山団長のリーダーシップのすばらしさがあり、みんなで活動する楽しさを味わえました。

今後も藤沢合唱団を応援していきたいと思います。

藤沢合唱団 永山団長：私たちの活動を知ってもらえた

サポーター鎌倉さんは、出演者とその出演者と関係をお持ちのご来場者との引継ぎなど、合唱活動をされていらっしゃるからこそできる細かい所のサポートがありました。サポーター松村さんは、最後の全体会までご参加いただきました。感想の順番で指名させていただいた時に嫌がらずに答えていただき、今日のコンサートを成功させた藤沢合唱団の一メンバーであると感じていただいたことをうれしく思いました。

今回参加してくれたお二人は“周りに違和感のない形”で気づいたら行動に移して支援していただいたので、本当に助かりました。また、合唱団の歌を見てもらえた、聴いてもらえたのがうれしかったです。

合唱団の団員の皆さんにも、はじめて参加されるボランティアや頻繁にはお会いしないボランティアには、ちゃんと声掛け・挨拶をするように共有しているという永山団長。ボランティア受け入れの心構えができているからこそ、ボランティアをはじめとする団体のファンや素敵な支援者が増えていくのだろうと実感しました。

当施設では、地域の現場で社会・地域・暮らしを良くしていく市民活動に取り組む方が増えてほしいと願い、市民活動団体の現場で支援する取り組みを続けたいと考えています。読者の方にも複数の場を見て「推しの団体」を見つけて欲しいです。当施設サポーターになって、推しの団体探しをするのもOKです。では、市民活動の活動現場でお会いしましょう！（取材・記事執筆：すながようへい）



チケット販売の支援

団体紹介

藤沢合唱団

【設立】 1980年4月

【団長】 永山 園子(ながやま そのこ)

【TEL】 0466-33-2248

【URL】 <https://fujisawa-npo.jp/dantai/detail.php?id=20327>



支援施設サポーター募集中！

支援施設や市民活動の活動現場と一緒に

楽しみましょう。詳細は HP で！

【URL】 <https://fujisawa-npo.jp/about/supporter>



2025 年の 3 大ニュース

NPO TIPS

明けましておめでとうございます。新年を迎え、市民活動推進センター並びに市民活動プラザむつあいとして、市民活動に関わる皆様の活動が更に発展することを願い、スタッフ一同、支援サービスの充実を進めて参ります。皆様にとって飛躍の年となりますことを祈念いたします。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

今回は 2025 年の出来事を振り返る「支援施設 3 大ニュース」をお届けします。

①OUR Project の事業者決定

藤沢市民会館や、南市民図書館等の公共施設を複合化して再整備する「生活・文化拠点再整備事業」、通称「OUR Project (Okuda Urban Renovation)」。

2025 年 7 月に OUR Project の管理・運営計画策定業務委託および基本設計委託の事業者が決定しました。藤沢の市民活動とも縁の深い藤沢市民会館等の公共施設は、今年 4 月から休館となり、2031 年度からの共用開始を目指して事業が進んで

いくようです。どんな施設になるのか支援施設としても注目しています。

②意見交換の場を開催

2025 年度は第 4 期藤沢市市民活動推進計画（2019 年度～2025 年度）の最終年度にあたります。第 5 期計画の策定に向けて、市民の皆さまから、「藤沢の市民活動」を切り口に幅広くご意見を伺う意見交換会「藤沢の市民活動の未来を考える～みんなでディスカッション～」を 8 月 2 日（土）に実施しました。

10 代から 70 代までの 43 名にご参加いただき、参加者の方から「さまざまな視点の意見が聞くことができて楽しかった」、「普段接することがない方とつながれる機会になって有意義な時間になった」、「毎年開催してほしい！」といった声が寄せられました。また、そこで出た意見を「グラフィックレコーディング」という手法で、視覚的にまとめ、様々な意見や当日の賑やかな様子が伝わってくる 1 枚の大きな絵ができました。

③パートナーシップミーティングの開催

「ワカモノとつくるまち～企業・NPO・大学パートナーシップミーティング in 藤沢」を 11 月 28 日（金）に開催しました。若者がまちづくりに関わる 3 事例（藤沢湘南台病院 × 長後フロンティア、Will CONNECT、観光まちづくり学生企画会）を 4 団体の方からお話いただきました。当日は 52 名の多世代かつ多様な分野から参加者が集まり、グループディスカッションなどを通じて、積極的な交流が行われました。

早速、繋がりました！とお声もいくつかいただいています。

まだ書ききれないことも多々ありますが、厳選して 3 大ニュースを紹介させていただきました。2026 年も引き続き社会の動きを捉えながら、利用者の皆様に活用される施設であるよう、スタッフも日々情報収集と発信をしていきます。引き続きよろしくお願い申し上げます。（あ）

孤立という病を治す社会的処方とは

ボランティア活動の相談を受けていると、担当医から「ボランティアでもしてみたらどうかと言われたので、何か紹介してください」と来られる方に会うことがあります。そのような場合には、「好きなことは何ですか」「やってみたいことはありますか」「これまでに活動した経験はありますか」といった質問をしながら、その人に合いそうな活動を一緒に探し、紹介しています。このように、薬を処方するだけでなく「行動を処方する」ことに意味があることが、近年、実証されつつあります。これは「社会的処方」と呼ばれています。

社会的処方は、2020 年に世界的に権威のある医学雑誌『New England Journal of Medicine』で取り上げられ、健康を「医療」だけに任せるのではなく、「地域とのつながり」を処方するという考え方が、世界的に広がり始めました。日本でも、日本医事新報『Medicina』や医学書院の専門誌などで、医療と地域をつなぐ新しいアプローチとして紹介されています。さらに、「孤独・孤立対策推進法」が 2024 年 4 月から施行されるなど、多様な連携の必要性が示唆されています。

孤独や孤立が、喫煙や肥満と同様に健康へ悪影響を及ぼすことは、多くの研究で明らかになっています。しかし、孤独や孤立そのものに効く薬はありません。そこで、地域活動やコミュニティ、人とのつながりを「処方」し、適切につないでいくことで、孤独や孤立を和らげ、市民の健康増進

につなげようという取り組みが目玉されています。医療では想定されてこなかった処方に、医療従事者の関心が集まっているのです。

一方で、自治会・町内会への加入率の低下や、ボランティアの担い手不足など、地域活動は継続の危機に直面しています。

つながりを受け入れたい地域と、つながりを必要とするかもしれない市民が出会える仕組みや仕掛けが、今まさに求められています。

昨年 12 月には、横浜市の「市民活躍・地域コミュニティ活性化特別委員会」において、地域活性化における市民の「つながり」が議論されました。また神奈川県では、多様な主体がそれぞれの強みを生かし、持続可能な共創事業を生み出すためのプラットフォーム「ともいき社会推進コンソーシアム」が立ち上がりました。いずれも、多様な「つながりづくり」を支援することを重視しています。

「つながり」をあえて避けたい時期がある生き方も、もちろん大切です。それでも、「孤立」と無縁な人はいません。今、孤立しているかどうかではなく、つながりたいと思ったときに、つながることのできる社会を、皆でつくっていきませんか。

さて、新しい年を迎えました。今年は何人の方と「明けましておめでとうございます」を交わしたでしょうか。年賀状は卒業しても、挨拶まで卒業してしまうのは、寂しい気がしています。（て）

※最初に登場した相談者の方は、現在、都内のNPO法人で活躍しています。

